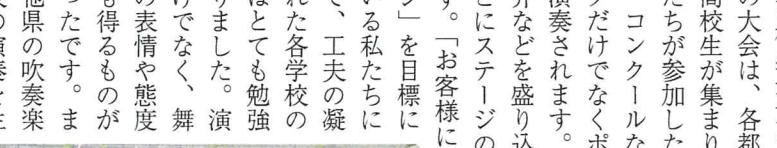


今を輝く高校生の声

私たちも、この夏は滋賀県で行われた全国高等学校総合文化祭に出場しました。「高校生最大の文化の祭典」でもあるこの大会は、各都道府県から約二五人の高校生が集まります。私たちが参加した吹奏楽部門の発表では、コンクールなどとは違い、クニシックだけでなくポップスやジャズなども演奏されます。また、ダンスや芝居紹介などを盛り込む学校もあり、学校ごとにステージの雰囲気が全く異なります。「お客様に楽しんで頂けるステージ」を目標にしている私たちにとって、工夫の凝らされた各学校の発表はとても勉強になりました。演奏だけでなく、舞台上の表情や態度からも得るものが多くかったです。また、他県の吹奏楽名門校の演奏を生で聞くことができたことも、大切な経験でした。





今回の滋賀への遠征を通して、大会に参加したことはもちろん、さまざまな体験ができた私たちは本当に幸せだと 思います。大会の前日には大阪の箕面自由学園さんと合同練習をさせて頂きました。「これぞ大阪」というエネルギー溢れる雰囲気に圧倒され、憧れると同時に私たちの部の目標となりました。また、大人数では迷惑をかけずには道を歩くことだけでも一苦労で、集団行動の大変さを実感しました。個人が責任を持って行動すること、そして周囲へ配慮し声を掛け合うことが大切だと思いました。このことは行動面だけではなく演奏にもいえることです。個人の力がそのまま集団の力につながると思うので、一人一人の意識が高い団体を目指したいです。

今回の貴重な経験を支えて下さった方々への感謝の気持ちを忘れず、これからもこの経験を生かし、全力で活動になり、今後の活動でプラスになると思いました。

全国高等学校総合文化祭に出場して
千葉市立千葉高等学校吹奏楽部 齊藤みなみ

ちば
高
連
だ
よ
り

第73号

千葉県高等学校
PTA連合会事務局
☎ 043(255)0687

とも言い 猛稽古 女子高なぐ ~「2015君が創る近畿総体」に出場して~
とも引分 二位とな 二位とな 二位とな
なムード いる絶対 リーグ戦 国総体に あります 関東大会 県予選で 高梨みのり
なムード いる絶対 リーグ戦 国総体に あります 関東大会 県予選で 高梨みのり

前年度県大会決勝で敗れ、全国総体団体戦出場権を逃したところから私たちの挑戦が始まりました。部員全員で誓つたのは「今年は何が何でも団体戦で全国高校総体（インターハイ）へ出場する」このことでした。顧問の先生の厳しくも温かい指導を毎日のように受けられる恵まれた環境の中、自主的な朝稽古、昼休み寸暇を惜しんでの素振り、そして放課後遅くまでの全体稽古に取り組んできました。授業のない日は午前午後とそれこそ【なぎなた漬け】の日々でした。同級生は『なぎなたが恋人』になりました。

の敗退
しか
踏みと
早くに
れぞれ
を決め
うして
0の僅
とがで
全員が
三年生
全国
部長の
手を務
体験す
この
輩後輩
晴らし
まで支
皆様、
校長先
高の先
くださ
た連盟
の先生
方、そ
して県
内外の
ライバ
ル校の
みんな
に心か
ら感謝
いたし
ます。



の敗退シーンが脳裏をよぎります。

敗れ、全国総体団体戦出場権を逃したところから私たちの挑戦が始

しかし、今年はここで三年生が踏みとどまりました。個人戦では早くに敗れた二人が奮起一番、それぞれ鮮やかな〈メン〉と〈スネ〉を決つて勝利を収めました。

部員全員で誓つたのは
は「今年は何が何でも
団体戦で全国高校総体
(インター・ハイ)へ出場
する」のことでした。
顧問の先生の厳しく
も温かく指導を毎日
は「今年は何が何でも
団体戦で全国高校総体
(インター・ハイ)へ出場
する」のことでした。
顧問の先生の厳しく
も温かく指導を毎日
は「今年は何が何でも
団体戦で全国高校総体
(インター・ハイ)へ出場
する」ことでした。
顧問の先生の厳しく
も温かく指導を毎日
は「今年は何が何でも
団体戦で全国高校総体
(インター・ハイ)へ出場
する」ことでした。



平成二十七年度千葉県高等学校PTA連合会定期総会は、六月三日(水)、県教育会館大ホールにおいて、一三二校から二二七名が参加して開催されました。

菅澤副会長の開会のことばで始まり、大木会長の挨拶では、早朝行われたテニスの錦織選手の試合を例に取りながら、「人は言葉よりも行動や立ち振る舞いで感動する。高校生が輝くためには私たち人が輝いていなければいけない」というお話と、来年度本県で開催予定の第六十六回全国高等学校PTA連合会大会に向けて、「全國から多くの方々を『集める』ではなく、全国から多くの方々が『集まる』」ような環境を、実行委員を中心にしていきたい」という意気込みも込められた協力を依頼がありました。議事に先立ち、昨年

度の関東地区高等学校PTA連合会群馬大会並びに県高等学校PTA研究集会における提案者五名の表彰と、各単位PTAから推薦があつた百十名に大木会長から感謝状が贈呈され、受賞者を代表して県立佐原白楊高等学校の小沼芳夫様からご挨拶を頂きました。

続いて、ご臨席いただいた県議会議長代理・文教常任委員会委員長の今井勝様、県教育庁教育振興部生涯学習課長の藤田武様、県高等学校長協会会长の吉開潔様からご祝辞を頂戴し、森田健作県知事が祝電を披露されました。

議事は小池・金子の両副会長が議長団に選出され、昨年度事業及び決算が承認された後、今年度活動方針案・事業計画案・予算案が提案され、承認されました。新役員についても承認され、昨年度に引き続き、県立八千代高等学校の大木幸夫会長のもと、新体制のスタートとなりました。なお、新たに千葉英和高等学校及び千葉学芸T A連合会でつくっていきたい」という行政説明は、県教育庁企画管理部教育政策課主幹兼室長の松田裕二様から「新みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」について説明があり、菅澤副会長の閉会のこ



平成二十七年度 総会報告

県高P連前副会長
志 鎌 敏 彦

(千葉県立若松高等学校長)

とばで総会は終了しました。

記念講演は、熊澤南水氏による「南水一人語り」と題した、山本周五郎作「二粒の飴」の朗読でした。

氏は幼少期の体験を交えながら、「言葉の力と大切さ」についてお話しいただきました。講演の結びの「ひとつのことばで励まされ、ひとつのことばで傷ついた。言葉は『魔物』、使い方一つで毒にもなる」ということ、ことばが大変印象的でした。



会長就任挨拶

県高P連会長

大木 幸夫
(千葉県立八千代高等学校PTA副会長)

平成二十七



年度、千葉県高等学校PTA連合会会长

クの違いを想像すれば、はつきりと理解できることでしょう。そんな現代の子どもたちの健全育成に携わるということは、数十年前の大人が今の時代を理解し、未来を違っています。一九六四年に開催した東京オリンピックと、二〇〇〇年に開催される東京オリンピックの違いを想像すれば、はつきりと理解できることでしょう。そんな現代の子どもたちの健全育成に携わるということは、数十年前の大人が今の時代を理解し、未来を

見据えることから始めなければなりません。子どもたちが夢を持ち、その夢の実現のために積極的に学べる環境づくりの推進に努めることができます。会長としての仕事だと自負しております。今後とも、当連合会への積極的なご参加、ご意見ご協力をよろしくお願ひいたします。

尚、<http://www.chikouren.jp>にて、情報を発信しておりますので是非ご活用ください。

明があり、菅澤副会長の閉会のこ

校が責任を持ってそれぞれの担つている役割を果たしつつ、緊密に連携を取り合い、さらには地域との連携も図りつつ、子どもたちの健全育成を目指すことにあると考

えております。その目的の為に、お手伝いすべく、新しい情報や、当連合会は、皆さまの目的達成を

達成を

します。

会員の皆さまにおかれましては日頃より、多大なご支援ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。また、各単位PTAの活動を通じ

平成27年度 役員と理事校

事務局	副会長	会長	大木 幸夫／八千代PTA
事務局長	湯井 隆子／瀬山おおみの森PTA	榎本 彰／瀬山おおみの森PTA	榎本 彰／瀬山おおみの森PTA
事務局員	平井 敏一／千城台PTA	田 順光／小見川PTA	田 順光／小見川PTA
理事校	会計	監事	顧問
(千葉)千葉東・千葉商業高等学校	本田 秀年／館山総合PTA	鈴木 清史／船橋東PTA	小高 正之／県立千葉PTA
(船橋)船橋東・船橋啓明高等学校	猿渡 未治／成東PTA	山田 尚子／国府台PTA	高橋 孝宏／元県連会長
(市川)国府台・国分	鈴木 清史／船橋東PTA	鈴木 清史／船橋東PTA	吉開 潔／高校長協会会長
(松戸)県立松戸・小金	山田 尚子／国府台PTA	鈴木 清史／船橋東PTA	吉開 潔／高校長協会会長
(東葛飾)流山おおたかの森・清水	鈴木 清史／船橋東PTA	鈴木 清史／船橋東PTA	吉開 潔／高校長協会会長
(印旛)富里・佐倉	鈴木 清史／船橋東PTA	鈴木 清史／船橋東PTA	吉開 潔／高校長協会会長
(東總)小見川・多古	鈴木 清史／船橋東PTA	鈴木 清史／船橋東PTA	吉開 潔／高校長協会会長
(山武)東・東金	鈴木 清史／船橋東PTA	鈴木 清史／船橋東PTA	吉開 潔／高校長協会会長
(長夷)長生・大原	鈴木 清史／船橋東PTA	鈴木 清史／船橋東PTA	吉開 潔／高校長協会会長
(安房)房館山総合・安房拓心	鈴木 清史／船橋東PTA	鈴木 清史／船橋東PTA	吉開 潔／高校長協会会長
(君津)君津商業・上総	鈴木 清史／船橋東PTA	鈴木 清史／船橋東PTA	吉開 潔／高校長協会会長
(市原)鶴ヶ丘・京葉	鈴木 清史／船橋東PTA	鈴木 清史／船橋東PTA	吉開 潔／高校長協会会長
杉本しのぶ	鈴木 清史／船橋東PTA	鈴木 清史／船橋東PTA	吉開 潔／高校長協会会長



受賞者の声



全国高P連表彰受賞にあたり

県高P連前副会長 小池 隆

(千葉県立鎌ヶ谷西高等学校)

全国高等学校PTA連合会大会岩手大会において、会長表彰をいただきました。ありがとうございます。私自身のPTA歴を振り返ってみると、長女の中学校時代から次女の高校卒業まで、十年間の長い歳月でした。ふとすれば素通りしてしまいがちなPTA活動ですが、父親として、子どもの教育を考える一端となつた貴重な経験でした。

保護者の皆さまは、社会人や親としての経験で様々な技能や知恵を持ついらっしゃいます。その力を發揮しないのは、実にもつたいないことです。私も微力ながら、子どもたちの教育のお手伝いができたことを嬉しく思います。

関東高P連表彰受賞にあたり

県高P連前副会長 田鎖 美穂

(千葉県立浦安南高等学校)

七月九日、第六十一回関東地区高等学校PTA連合会茨城大会において、関東高P連表彰をいただきました。このような栄誉ある賞を賜ることが出来たのは、事務局の皆さんに支えていただき、同期の役員の方々と素晴らしいチームワークを築けたからだと思いまます。深く感謝申し上げます。

振り返って見ると反省点も多くあります。が、様々な会議や大会に出席する機会を与えられて、一つ一つの役割を果たしていくうちに達成感と自信が芽生えていくのを感じることが出来ました。来年度に千葉県幕張メッセで開催される、第六十六回全国高P連大会が成功裏に終わるよう更に尽力致します。ありがとうございました。

全国高P連表彰受賞にあたり

県高P連前副会長 金子 浩章

(千葉県立下総高等学校)

この度第六十五回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会におきまして、全国大会会長表彰を受賞させていただきました。

A連合会大会岩手大会として、県内単Pの皆さま方に、楽しく活動してもらえるようお手伝いをさせて頂きました。

皆さまが楽しく、仲よく活動していく姿を見て、私も楽しく活動することが出来ました。この賞を受賞したのも、PTAの皆さま方に力と元気をもたらすおかげだと思います。今後も、PTAのいろいろな方々とふれあいながら、いろいろな活動をなし、子どもたちに、生徒たちにより良い環境を提供出来ればと思っております。

関東高P連表彰受賞にあたり

松尾高校前PTA会長 矢光 素子

(千葉県立松尾高等学校)

第六十一回関東地区高等学校PTA連合会茨城大会において、関東高P連表彰を戴きました。

これもひとえに、千葉県高P連事務局の皆様及び役員の皆様に支えて頂きました。

県高P連結成五十周年記念大会での提案校として微力ながらも関わらせて顶いたことは、私にとって貴重な体験

であったと共に、大変充実した一年となりました。この表彰を糧に、本校の後援会としても尽力したいと思つておりま

ります。

最後に、全国大会千葉大会の成功を祈念申し上げ、お礼の言葉とさせて頂きます。

全国高P連・関東高P連団体表彰受賞にあたり

佐原白楊高校PTA会長 行木 時久

(千葉県立佐原白楊高等学校)

七月九日(木)に、小雨降る中、つくば市カビオサイバーダインアリーナで行われた関東高P連大会、さらに八月二十日(木)に、晴天に恵まれた岩手山を望む岩手県滝沢市の岩手産業文化センターで行われた全国高P連大会に於て、優秀PTAとして団体表彰を受けました。これは前年度の関東大会分科会で提案発表したことが評価されたものです。これまで活動されてきた諸先輩方に感謝し、佐原白楊高校のPTA活動がますます活発になるよう努力して行きたいと思います。合わせて千葉県高P連のますますのご発展と、平成二十八年度の全国高P連大会千葉大会の成功をお祈り致します。

関東高P連表彰受賞にあたり

柏陵高校前PTA会長 林 加代子

(千葉県立柏陵高等学校)

第六十一回関東地区高等学校PTA連合会茨城大会において、関東高P連表彰を戴きました。

これもひとえに、県高P連事務局の皆様、役員の皆様のお力添え、そして、我が柏陵高等学校、校長先生を始め諸先生方、PTA(同志)の皆様のご理解、ご協力のお蔭と感謝しております。

PTA活動を通じ、子どもたちの笑顔を間近で見ることが出来、また、同じ年頃の子を持つ親として、沢山の出

ります。

P-Connexionとして微力ながらも関わらせて顶きました。この表彰を糧に、本校の後援会としても尽力したいと思つておりま

った。有り難うございました。結びに

千葉県高P連の益々のご発展を心より

ご祈念申し上げ、お礼の言葉とさせて

頂きます。



関東地区茨城大会にて表彰された方々



全国岩手大会にて表彰された方々



第66回 全国高等学校PTA連合会大会 千葉大会に向けて

全国千葉大会担当事務局長

佐々木 純



過日の全国岩手大会での千葉PRパフォーマンス、大変好評がありました。この勢いをもって、来年8月24日(水)～26日(金)に備えたいと思いますので、これから準備、本番よろしくお願ひ申し上げます。

メインテーマは「再発見！愛」。今こそ信じよう愛の絆～とし、子どもたちを「愛」の力で支え健全な育成を求めるものであります。会場は幕張メッセを中心にお定しております。千葉高P連全会員でおもてなしの心を持って全国からの参加者をお迎えしたいものです。何卒ご協力よろしくお願い申上げます。

「茨城大会に参加して」

県高P連副会長 榎本彰



識を是非とも学校生活をおくること
どもたちのために活かしたいと思
います。

関東高P連主催による関東大会
が今年は七月八日～九日を大会期
日として茨城県つくば市において
開催されました。

一日目は関東高P連PTA役員

による総会が行われ、その後教育
視察としてサイエンスツアーに参
加しました。私が参加した視察は
「ロボット・医療・産業コース」と
いうもので、ロボットというと自
分で動くものを想像してました
が、そうではなく着用するタイプ
のロボットでロボットスーツと言
われるものでした。実際にリハビ
リの現場で利用されているものに
ついて説明を聞き、また体験する
ことが出来てとても興味深い内容
でした。

その後の情報交換会では、普段

は接することのほとんどない他県

の方々と同席となり所属する学校

の話や日頃の活動などについて語
ることができ有意義な時間を過
すことができました。

二日目は全体会が行われまし
た。

全体会では約一
五〇〇名
の関東各
県から参
加された



P.T.Aの方々が一同に会しての会
となり、開会式・表彰式・会長による
大会宣言文発表・次期開催県
の発表等が行われました。また、
次期開催県の山梨県連会長による
あいさつもされました。その後の
記念講演では筑波大学大学院教授
の山崎嘉之先生による講演が行わ
れました。講演の題目は「つくば
から未来へ」（要介護ゼロへの挑
戦）ということで、先生が開発さ
れているロボットが盛り込まれた
内容でした。

全体会の後は各会場に分かれて
の分科会が行われました。分科会
は四つに分かれしており、私が参加
したのは第四分科会で、テーマは
「家庭教育とP.T.A」という会で
した。この分科会では群馬県と栃
木県の高等学校のP.T.A会長より
P.T.A活動への取り組みなどにつ
いての発表がされました。各学校
において、P.T.Aの組織（委員会
など異なることやP.T.A役員と
生徒会役員との懇話会を定期的に
開いているなど、当校でも取り入
れたく参考にしたいことが何点か
ありました。

分科会終了後は各分科会ごとで
閉会式が行われ、茨城大会は終了
致しました。

今大会に参加して得た情報や知
識を是非とも学校生活をおくること
どもたちのために活かしたいと思
います。

岩手大会に参加して

県高P連会計 本田秀年
(千葉県立館山高等学校P.T.A会長)



今年で六十五回目を迎える全国大会は、東日本大震災による地震や津波で大きな被害を受けた岩手県、この地は全国高等学校P.T.A連合会大会の発祥の地でもあると聞きました。未だ未来圏からの風をつかめ！というテーマの由来は岩手県出身の宮澤賢治の詩の一節から引用したと聞き、テーマそのものの重みを感じました。開会式では、全国高P連会長の式辞から始まり、下村文部科学大臣や岩手県知事などご来賓のお祝いの言葉を頂戴した



第2分科会で発表する県立成東高等学校



後、岩手大会実行委員長の挨拶で式は締め括られました。直後の基調講演では、「夢高くして足地に重要な役割を担つて、と力説していたのが印象に残りました。午後からは七カ所に分かれて分科会があり、私自身は本会場で移動のないまま「青少年の健全育成に關わる研究発表」というテーマリストを招いてのシンポジウムに参加しました。質疑応答では、参加していた方からの活発な質問が飛び交う有意義な会となりました。まとめとして、子ども達の未来は大人の本気にかかるている、是非とも支える力を持つて下さい、と結びました。二日目に入り記念講演「アドリブを生きる力」というテーマで、アドリブを生きる力でお馴染みの映画監督、大友啓史氏の講話に聞き入りました。大

わが校自慢 生きる力を育む歯・口の健康づくり

千葉県立流山おおたかの森高等学校 P.T.A.会長
小井沼 冬樹

異文化交流をとおして育むグローバルな視点
～全国国際教育研究大会千葉大会より～
千葉県高等学校教育研究会 国際教育研究部会長
千葉県立東葛飾高等学校長 須田 秀伸

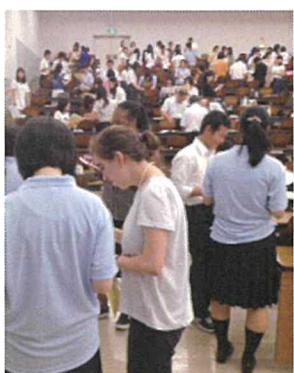
きつかけは、歯科治療勧告を受け取ったが部活で歯医者に行けないという、野球部保護者から養護の先生への相談だったそうです。それならば歯磨きを徹底し、虫歯や歯周疾患を予防し、歯医者に行く必要が無いようにしようと、野球部生徒を集めてのプラッセンゲ指導が始まりました。「バットの素振りは忘れても歯磨きは忘れるな！」と、顧問の先生の力強い協力も得られ、野球部では昼食後の歯磨きが日課となりました。

国際教育研究部会では、PTA連合会から国際交流事業補助として毎年多大なご支援をいただいています。

今年度は恒例の行事以外に、当部会主管の「第五十二回全国国際教育研究大会千葉大会」が八月二十日、二十一日神田外国語大学を会場に、「異文化交流をとおして育むグローバルな視点」というテーマで開催されました。

その中で、英語弁論部門千葉県に、「異文化交流をとおして育むグローバルな視点」という

千葉県立東葛飾高等学校とおして育むグローバルな視点」という



大会一日目は、高校生の英語・日本語弁論大会、宮崎 緑氏（千葉商科大学国際教養学部長）の記念講演、県内外からの高校生の国際交流活動に関する研究発表がありました。

大会はさすがにレベルも高く、体験に基づく感動的な内容も数多くありました。各地域代表生徒の弁論が聞くことができました。

その中で、英語弁論部門千葉県代表の小林祐慶君（市立松戸高校三年）は、「全国国際教育研究協議会会長賞」、日本語弁論部門の戴立誠君（成田国際高校二年）は、「文部科学大臣賞」の候補校となりました。

きっかけは、歯科治療勧告を受け取ったが部活で歯医者に行けないという、野球部保護者から養護の先生への相談だったそうです。それならば歯磨きを徹底し、虫歯や歯周疾患を予防し、歯医者に行く必要が無いようにしようと、野球部生徒を集めてのプラッセンゲ指導が始まりました。「バット

の素振りは忘れても歯磨きは忘れるな！」と、顧問の先生の力強い協力も得られ、野球部では昼食後の歯磨きが日課となりました。

まずは生徒の実態調査。歯科健診結果からは、学年進行に伴い虫歯が増えていること、予想以上に歯磨きの習慣が不十分であることが明らかになりました。

学校全体で歯磨きに取り組もうとした。全国から約三百五十人の生徒、教員、外国人ゲスト等が参加しました。

大会二日目は、参加者すべてに生徒研究発表部門（六団体）では、千葉工業高校のベトナムとの交流活動についての発表があり、また、県内外の高校に交って中国西安外国语学校の生徒も「日本語の勉強から国際視野を広げる」のテーマで参加し大会を盛り上げました。

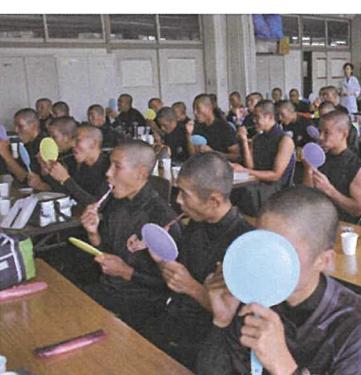
生徒は、短い時間ではありますたが、多くの外国文化を直接体験し、まさに「多文化交流をとおして育むグローバルな視点」の実践ができたことと思います。

当部会では、より多くの高校生に、異文化交流のための体験をさせて

するため、トイレの流し台を全面改修し、流し台を増設しました。将来の健康づくりやプレママ・パパの視点を意識した歯と口に関する講演会や学級単位のプラッセンジ指導。保健委員会や美化委員会による歯磨き場所の清掃。アシスタント制作、軽音楽同好会による歯磨きソング制作、アナウンス同好会による歯磨き放送、保健委員会による文化祭発表……。

PTA役員も参加した学校保健委員会では、成果として、歯磨き実施率の増加や治療勧告対象の生徒の減少が報告されました。さらに、これら一連の取組みが評価されました。

第六十五回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会、第六十一回関東地区高等学校PTA連合会大会茨城大会において単P広報誌の展示に際し三十PTAから応募がありました。役員会、理事会等で審査した結果をご報告いたしました。今後とも多数のご応募をお待ちしております。



- 全国大会掲示単位PTA
- ・ 県立鎌ヶ谷高等学校
- ・ 県立佐倉高等学校
- ・ 関東大会掲示単位PTA
- ・ 県立匝瑳高等学校
- ・ 県立東金高等学校
- ・ 県立千葉南高等学校



▲全国大会
掲示のようす

◀関東大会
掲示のようす

広報誌応募のお礼

ある
特徴
の
生徒
活動

イベント型販売実習の取り組み

千葉県立鶴舞桜が丘高等学校 食とみどり科

教諭 橋本詳平



『四月第四週目の土曜早朝、いよいよ春の園芸フェア（ナス、トマトなどの夏野菜および花苗の販売会）が大々的に行われて今年で二回目となり、冬の販売会と合わせて地域に対しても着実に根付きました。しかし、「園芸フェア」を飾り看板とするなら、その骨格は「販売実習」である。こちらとすれば、効果的な実習が出来ればそれでよいのである。実習の協力者は言わざもがな来場者の「お客様」である。「講師」と呼んでもよいかもしれません。一斉に押し寄せる数百人に對して苗換算で一万鉢に迫る売り上げの販売イベントを四十人足らずで乗り切る覚悟が必要だからだ。

電卓を打つ生徒、おつりを出す生徒、ひつきりなしに苗を補充する生徒、売れた苗を駐車場まで搬送する生徒、混雑する駐車場を任せられた生徒。生徒職員一同が繁忙を極めている。まるで息をつく間もない。これは今年行われた苗物販売会（園芸フェア）の描写である。

本校は市原市内唯一の専門高校であり、農業学科の食とみどり科では、野菜・果樹・草花・緑地計画の四コースにおいて、日々実践的な学習を展開している。

イベントの期日が迫る農場内は活気が一段と高い。普段から熱心に取り組む生徒も緊張感が高まると言え、普段の五割増しで顔つきがよくなっている。それもそのはず、一斉に押し寄せる数百人に對して苗換算で一万鉢に迫る売り上げの販売イベントを四十人足らずで乗り切る覚悟が必要だからだ。

イベントでは様々なことが起こる。来場者は九十分待たされて、実習に付き合つていただき）あります」といいます」が相応しい。さて、保護者の皆様方におかれましては、変化著しい社会の中でも多様化する子どもたちや学校と間で日々奮闘していることご推察いたします。親も学校も青少年の健全育成という思いは同じもの、教師（学校）は理屈で説明しきは思いで行動するそこにズレが発生といわれています。しかし、学校の対応に時代の流れこそあっても、親が子どもを思う気持ちは不易であり不偏なものです。

★団体

関東地区高P連表彰者

千葉県立佐原白楊高等学校
前副会長 小池 隆
(県立鎌ヶ谷西高等学校)

前副会長 金子 浩章
(県立下総高等学校)

★団体

表彰者

千葉県立佐原白楊高等学校

前副会長 小池 隆
(県立鎌ヶ谷西高等学校)

前副会長 金子 浩章
(県立下総高等学校)

平成27年度

●団体

全国高P連表彰者

平成27年度



新事務局長挨拶

事務局長 林修一

—

初めまして、

四月に千葉県立松戸国際高

校校長より本

事務局に着任

いたしました林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、保護者の皆様方におかれましては、変化著しい社会の中でも多様化する子どもたちや学校と間で日々奮闘していることご推察いたします。親も学校も青少年の健全育成という思いは同じものの、教師（学校）は理屈で説明しきは思いで行動するそこにズレが発生といわれています。しかし、学校の対応に時代の流れこそあっても、親が子どもを思う気持ちは不易であり不偏なものです。

「赤子には肌を離すな。幼児には手を離すな。少年には目を離さないで下さい。」

はいかない場面も多い。

見ててみると、ホームセンターなんかのとは比べ物にならない位良い

(県立大多喜高等学校)

県立松尾高等学校

前会長 佐藤 素香

県立八千代高等学校

前会長 林 加代子

県立柏陵高等学校

前会長 吉野 正展

前副会長 菅澤 朱美
(県立鎌ヶ谷西高等学校)

前副会長 田鎖 美穂
(県立浦安南高等学校)